

令和5年度（2023）公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市黒埼地区総合体育館（有料） ※プール無し		
管理者名	公益財団法人新潟市開発公社	指定期間	2019年4月1日 ~ 2024年3月31日
担当課	西区地域課		
所在地	西区金巻746番地1		
根拠法令	スポーツ基本法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 12,600㎡ 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） アリーナ 1,222㎡ トレーニング室 84㎡ 剣道場 278㎡ 柔道場 199㎡		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- （1）新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- （2）公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、サービスの向上や平等利用が確保すること。
- （3）利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- （4）利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- （5）新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- （6）効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- （7）法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- （8）指定管理者制度を理解し、実践すること。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	基準利用者数の達成	・個人利用者数 25,046人	個人利用者数 25,299人(R4年度23,854人、前年度比106%) * 能登半島地震被災相談窓口のため、体育室、卓球室、走路利用中止(1/22~3/31)	A	利用中止期間があったにも関わらず指標を上回った
	基準利用率の達成	・利用率平均50%以上(利用時間数/利用可能時間数) ※体育室・武道場を対象	体育室:76.2% 武道場:25.9%(剣道場50.7%、柔道場20.5%、相撲場0%) 合 計:51%	B	
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には3営業日以内に回答	さわやか施設提案「0」 お客様とのコミュニケーションが良好 苦情・要望には迅速に対応している	B	
	サービス満足度	・指定管理に関する利用者アンケートで「満足」が65%以上	満足度全6項目のアンケート結果 :「満足以上」平均73.3%	A	
	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 9,117人以上	8,995人 * 能登半島地震被災相談窓口のため、体育室開催教室2教室3回以降(1/22~)中止	B	利用中止期間の影響を考慮し評価
財 務	使用料収入の達成	・年間使用料収入(免除料金除く)9,026千円以上(但し、新型コロナウイルスの影響、大会や市の主催事業等による使用料免除について考慮し評価する)	7,966,384円(R4年度:9,008,916円、前年度比88.4%) * 能登半島地震被災相談窓口のため、体育室、卓球室、走路利用中止(1/22~3/31)	B	利用中止期間の影響を考慮し評価
	管理運営経費の削減	・管理経費を抑える取組の実施件数5件以上	①シフトの効率化を図り超勤削減 ②スライド勤務により人件費削減 ③スタッフができる修繕はできるだけスタッフが行う ④常に省エネを心がけ無駄な電気をつけない ⑤水道メーターを毎日チェックし漏水予防 ⑥除雪をできるだけスタッフがを行い除雪費を節約 ⑦体育室の電球の半分をLED化し、年間100万円減	B	
業 務	地域貢献・地域連携	・地域貢献活動(連携事業) 年7回以上実施	①6/10立仏あそぼうさいAED指導 ②6/27白根北中職場体験受入 ③7/7黒崎中職場体験受入 ④7/8真砂小学校区ラジオ体操&ウォーキング指導 ⑤7/29すもう体験&やさい販売 ⑥黒崎ふれ協会議 ⑦10/29西区ウォーク協力 ⑧1/1黒崎元旦マラソン主催 ⑨2/10黒崎南ふれ協フロアカーリング大会指導 ⑩2/24中央区スポーツ協会事業指導	B	
	改善勧告等の対応の迅速さ・適切さ	・改善内容に応じて軽易なもの即日、時間を要するもの1週間以内に改善対応	迅速に対応している	B	
	当該施設の管理に係る関係法令の順守	・コンプライアンス研修 年1回以上実施	10/31~3/31 フルタイムスタッフ全員 情報セキュリティ研修(WEB) クレーム対応研修(WEB)	B	
	安全確保体制の確立	・防災訓練 年2回以上実施 (消防訓練・救命救急訓練など)	消防訓練と救命救急訓練 ①6/5と②11/6の2回実施 6/16全市一斉地震対応訓練	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・AED取扱講習、応急処置講習を全員が受講	6/5、11/6CPR+AED研修(救命救急訓練) 全員が普通救命Ⅱ資格講習受講・資格取得済	B	
	業務基準書等に定める事項の遵守	・その他業務基準書等に定める事項の遵守	遵守している	B	
人 材	配置人員のミッションの理解度とスキルの習得度	・職員研修を年8回以上実施	①4/3接遇研修 ②4/3グループウェア研修 ③4/25認知症サポーター研修(野中) ④6/5SWOT分析研修 ⑤6/14県スポーツ施設協会研修会(浅野) ⑥10/4階層別研修(浅野) ⑦11/10北信越体育施設協議会研修会(武江) ⑧10/31~3/31情報セキュリティ、クレーム対応研修 ⑨6/5、11/6CPR・AED研修(全スタッフ) ⑩2/27地域スポーツ人材養成セミナー(武江)	B	
	労働基準の充足	・労働関係法令の遵守	遵守している	B	

【評価基準】

- A：要求水準（＝評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
B：要求水準（＝評価指標）を達成されている。
C：要求水準（＝評価指標）を達成されていない。

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

能登半島地震の被災相談窓口のため1/21から3/31まで体育室、卓球室、走路が利用不可となり、使用料収入や教室参加者数が達成できなかった。ただ、12月終わりの時点では利用者数が前年度比113.5%、使用料は前年度比105.6%と被災相談窓口がなければ目標は達成できていたと思われる。

今年度は、体育室天井の水銀灯照明をLED照明に取り替える工事を行い、照度が上がりお客様から大変喜ばれている。また電気代の節約にもなり管理経費の縮減にもつながっている。

お客様からの要望・苦情が、直接スタッフに届くことで、さわやか施設提案の投書は「年間0」であった。改善できることは迅速に対応することで大きな苦情は寄せられなかった。今後もお客様、スタッフ間の良好なコミュニケーションを保つよう心掛けたい。

また引き続き、安心安全に配慮し、利用者満足度の高い施設運営を行い、各種大会の開催やスポーツ教室事業を中心に施設の利用促進を図っていききたい。

所管課による総合評価 (所見)

能登半島地震の影響による利用中止期間があったにも関わらず、個人利用者数が目標を達成したことは高く評価できる。利用中止期間の影響はスポーツ教室の参加者数や使用料収入の目標に届かなかったことにつながったと考えられるが、やむを得ない状況だったので、その点も考慮しました。

また、利用中止期間には整理整頓による施設の美化や研修を行うなど、施設の質を高めようと努力された。

今後も利用者の安全な施設利用を第一に、これまで培ったノウハウを十分に発揮していただき、利用者のニーズに対応した管理運営にご尽力いただきたい。